

## 大学オープンキャンパスが大盛況! 学生の笑顔が、高校生を魅了する。

オープンキャンパスの来場者数が飛躍的に伸びています。年間の来場者数は昨年度の1.5倍に達する勢い。会場は活気に溢れ、訪れた高校生たち



は笑顔で動きまわっています。さて、来場者アンケートを見てみると「学生さんがとても優しくて」「学生さんが…」という言葉が続きます。この学生たちこそ、公募や学科推薦で集まってくれた“学生スタッフ”。結成初年度にもかかわらず、その数は100名を超えています。好感を持たれる接遇方法やマナー研修など、いくつかのプログラムを受講した学生スタッフたちは、オープンキャンパスや進学ガイダンス



で大活躍。彼女たちは本学の魅力を生き活きと伝える伝道師たち。いつも笑顔で高校生を魅了する学生スタッフたちへ、心から感謝します。

## 2009年度「大学教育・学生支援推進事業」 学生支援推進プログラムにおいて、 本学の申請が採択されました。

本学が申請した「Kカルテ・一人ひとりの就職力を高めるキャリア開発プログラム」は、これまで本学が継続して実施してきた「個重視・女性のための

キャリア開発サポート」を大きく発展させ、電子キャリアカルテを導入し、教員、キャリアカウンセラー、キャリア支援センター職員が連携して活動をサ

ポートできることを目指します。また、キャリア開発教育科目を増設。更に名古屋栄にキャリア支援の拠点として「金城学院大学サテライト」を開設しました。

### <訂正>

「with Dignity」2009.6 vol.13の「Kinjo Gakuin Information」でご紹介しました120周年記念中・高合同PTA講演会紺野美沙子氏「自分を見つめて、世界をみつめる」の記事内で以下の誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤) 国連開発計画(NUDP)

(正) 国連開発計画(UNDP)

### 2009年度 聖句 標語

『わたしたちは、最初の確信を  
最後までしっかりと持ち続けるなら、  
キリストに連なる者となるのです。』

ヘブライ人への手紙第3章14節

#### キリストをお迎えする

預言が実現する、と新約聖書のマタイによる福音書はその最初で語ります。預言とは「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」とのイザヤの預言のことでした。この名は「神は我々と共におられる」という意味である、との説明も加えられています。

今年度の学院聖句標語に「最初の確信」という言葉があります。これは、主イエスこそ真の救い主・キリストという確信です。そのことを確信し続けるなら救われると結ばれていますが、ある時だけ「イエス様こそ救い主」と思うだけでなく、ずっと信じて救いを待ち続けることが求められているのです。

ヨセフは、「救い」を望む誠実な人でした。が、自分の子でもない赤ちゃんに戸惑いつつイエス様と母マリアを受け入れることとなります。しかしそれが、「救い」を信じてその成就を待つことであり、しかも実は、主が共にいてくださる「救い」をすでに手に入っていたことなのです。

クリスマスは「信じて待ち続ける」ことに密着しています。金城学院に連なるわたしたちは、どうか真の救いを信じて待ち続ける者でありたいと思います。

後藤田典子(金城学院中学校宗教主事)

### みどり野会より

「みどり野会」は金城学院の同窓会です。  
1889年に創立された学院の、  
卒業生が集う会です。

「みどり野会」という名前は、大正9年(1920年)に、  
聖書の詩篇第23篇

『主はわが<sup>ほくしゃ</sup>牧者なり われ<sup>とも</sup>乏しきことあらし  
主は我を<sup>われ</sup>みどりの野にふさせ  
い<sup>みどりの</sup>こひの水濱にともなひたまふ』

から名付けられました。

神さまによってこの学院に集められた私たちが、  
卒業後再び母校に集まり

いこひの時を過ごすという意味で、

「みどり野会」はいつも皆さんとともにあるのです。

本誌「with Dignity」は、金城学院のホームページ(<http://www.kinjo-gakuin.jp/>)でもご覧いただけます。ご意見・ご感想をお寄せください。

(また、現在お送りしております方で、住所変更や購読中止を希望される方もホームページからご連絡ください。)

with Dignity = 金城女学校・第6代校長 エラ・ヒューストンが、外出する生徒に「金城の生徒として“You must have dignity.”と話しかけたことに由来しています。“dignity”は、尊厳・品位の意。